

## 【地方創生】

### (1) 人を大事にし、人を育てる

#### ■ 現状と課題

- ・「大分県人口ビジョン」では、2014年に117万人の人口が、このまま何もしなければ、2040年に96万人、2100年には44万人と、人口減少が更に進行するものと推計しています。一方で、県民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現など自然増を図り、併せて若者の流入・定着など社会増を促進することで、2040年に104万人、2100年でも96万人と、100万人に近い人口が維持できるという将来展望を示しました。
- ・県民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望が実現した場合の出生率、いわゆる県民希望出生率は2.0となっており、この希望が叶えられるよう「子育て満足度日本一に向けた取り組み」など、子どもを生き育てやすい環境づくりに向けた施策をさらに充実させていく必要があります。
- ・高齢化の進行に伴い老年人口が急速に増え、死亡数が増加していることも自然減の一因となっています。自然減を緩やかにするためには、住み慣れた地域で健康で自立した生活を営めるよう、健康長寿の社会づくりも重要となります。
- ・人口減少は人口構造や労働力人口にも変化をもたらします。今後30年間で総就業者数が約21%減少し、就業率も4%近く減少することが見込まれており、女性の活躍促進、高齢者や障がい者の就労等、多様な人材の社会参加が求められます。
- ・子どもの教育環境の充実、本県の未来を切り拓く人材育成のために必要なことはもちろん、UIJターンを促進するうえでも、大変重要な要素となります。併せて、生涯学習の推進や県内大学との連携を図っていく必要があります。

#### ■ これからの基本方向

- ・子どもを生き育てやすい環境づくりや健康長寿の社会づくりを推進します。
- ・高齢者や障がい者、女性など、多様な人材の活躍を促進します。
- ・大分県の将来の担い手となる子どもの教育を充実します。
- ・全国に誇れる教育水準の達成を目指します。

#### ■ 主な取り組み

分野別政策のうち、関係する次の政策・施策に横断的に取り組みます。

##### ①一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～

- ・次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備
- ・きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援
- ・結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進

## ②健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～

- ・みんなで進める健康づくり運動の推進
- ・安心して質の高い医療サービスの充実
- ・高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築

## ③障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進

- ・障がい者の就労支援

## ④男女が共に支える社会づくりの推進

- ・女性の活躍推進と男女共同参画社会の構築

## ⑤生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

- ・子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進
- ・グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成
- ・信頼される学校づくりの推進
- ・「知（地）の拠点」としての大学等との連携
- ・変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

### ■ 目標指標

指標名		基準値 (H26年度)	目標値	
			H31年度	H36年度
若い世代の結婚・子育ての希望の実現※		合計特殊出生率 1.57	実現した場合の合計特殊出生率 2.0 (H42年)	
健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均） (再掲)	男性	69.85歳 (H22年度)	71.80歳	73.75歳
	女性	73.19歳 (H22年度)	75.11歳	77.03歳
教育水準	児童生徒の学力（知識・技能、全国平均以上の児童生徒の割合）（再掲）	小 60.7% 中 57.3%	小 63% 中 59%	小 65% 中 61%
	児童生徒の学力（思考力・判断力・表現力等、全国平均以上の児童生徒の割合）（再掲）	小 55.1% 中 52.4%	小 58% 中 54%	小 61% 中 56%
	児童生徒の体力（総合評価C以上の児童生徒の割合）（再掲）	小 77.0% 中 78.1%	小 79% 中 81%	小 81% 中 84%
	未来を切り拓く意欲を持つ児童生徒の割合（再掲）	小 74.0% 中 65.7%	小 80% 中 70%	小 85% 中 75%
	グローバル人材として活躍するための素地を備えた生徒の割合（再掲）	40%	50%	60%

※結婚や出産については、個人の考え方や価値観が尊重されることが大前提であり、この目標は個人に対するものではありません。